

佐田地域における学校再編の動向について

1 これまでの経過（主なもの）

令和 5 年 6 月 佐田自治協会から出雲市及び出雲市教育委員会へ「佐田地域における小学校の再編に関する要望書」の提出 ※要望の要旨は下記のとおり

- (1) 今後、佐田地域の児童生徒数が急激に減少していく状況を鑑み、できるだけ早期に両校（須佐小・窪田小）の統合を推進していただきたく、市と地元との協議機関の設置をお願いする。
- (2) 再編する学校の場所は佐田中学校敷地内とし、新たな校舎を整備していただきたい。ただし早期再編のために、一時的に現小学校の校舎を使用することも視野に検討をお願いする。
- (3) 学校再編は小学校の再編に留まらず、佐田中学校を含めた義務教育学校や小規模特認校制度の導入など、特色ある学校づくりの検討をお願いする。

令和 5 年 6 月 出雲市及び出雲市教育委員会から佐田自治協会へ回答 ※回答の要旨は下記のとおり

- (1) 子どもたちにより望ましい学びの場を整える観点から、早期に地元との協議の場を設け、須佐・窪田両小学校の再編について検討する。
- (2) 再編の時期や場所、また、義務教育学校、小規模特認校などの学校の形態についても、課題を整理しながら検討を進める。

令和 7 年 4 月 窪田小学校の須佐小学校への統合

令和 7 年 8 月・9 月 佐田地域保護者への説明会への参加（計 3 回）※佐田自治協会主催

令和 7 年 9 月 佐田自治協会から義務教育学校化、小規模特認校に向けて協議を進めたいとの意向表明

2 今後の予定

須佐小学校と佐田中学校を統合し、義務教育学校を設置することについて、地元と協議体を設置のうえ、協議を進めて行く。

義務教育学校

- 平成 2 8 年度(2016)に制度化された「小学校」「中学校」に並ぶ新しい種類の学校
 - 小 1 で入学し、中 3 で卒業するまで 9 学年が同一の学校で一緒に過ごす学校
- 一人の校長の下、一つの教職員組織を設置
- 義務教育 9 年間の学校教育目標を設定
- 9 年間の系統性を確保した教育課程を編成・実施
- 心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育を基礎的なものから一貫して施すことが目的